傳神開手
北齋漫畫十編
全
10

尾張東壁堂藏版画譜畫手本目録

書肆　名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎

たのまれさへなくてよろづのわざにあるハ
さることながらされど圍碁蹴鞠などすく
しれる上手ハ猶まれなるを見ることもあなるめること
たゞ画かく人まれにしてすみ川のほとりハ住
くゆるこゝろにかきたる繪とて堪さるもの
なつきてよくする人の中に山をも猶あまたさ
敷きて讀書するにも殿舍調度ことなかく
ある所にしれ居しも所の志によるまゝにかくゆへ

てまた木村しくわきある線路にうきしも
しては老のふくさきりやまし北齋漫画
十編まつく梓に意りて世にひろまる木乃末
これしをみて時なる人を每度にあ満まわ
柯しき楼上乃君子しらは楯にあらひて堪
たるらむしかよ那ゆゑし

文政二年十月　梅欄堂老人

漫画
十編

孫悟空（そんごくう）

殷の妲妃（いん だっき）

信州諏訪湖氷渡

柿本
貴僧正
加茂川の
水伐
逆ふ流

吹馬

呑刀

烟面

掌中浪

袖中仙
隠形
壺中仙
蜂吹

長頭
埋形
丈六
魔伽玉
天狗松明

浦島
牛毒
自然火
光雷

無相ノ瀧
鐵拳

蝦蟇
仙家ノ花
群鷺

上臈

狐火
越中立

狐嫁入（きつねのよめいり）
武蔵坊（むさしぼう）弁慶（べんけい）

花和尚
魯知深

日蓮上人之
佐渡嶋流刑

禅師

役の小角
前鬼
後鬼

目連為母
冥途ニ通
小野篁
冥途ニ通

をのゝこまち
小野小町
のういん
能因
きかく
其角

入雲龍 公孫勝
黒旋風 李逵

俊寛僧都

小野道風
をのゝたうふう

千利久
太田道灌
滝本坊
松永貞徳
嵐雪

希時の母公
加賀千代女

清玄法師堕落

蟬丸

宗鑑
そうかん
紫野
むらさきの
一休禅師
いつきうぜんじ

河内國
遠州秋葉山
天龍川

菊女が霊

三ヶ月上之

累が怨魂
祐天和尚

雪舟唐土に富士を画く
雪舟幼より画に妙有

時頼入道
佐野

夢の浮橋
力持
手妻師
猿引

八艘飛（はつそうとび）

大江山
酒呑童子

雪中往来

子英
孫登
苗龍

葛由
東方朔
涓子

明崇儼
老子
彭祖
重陽子
謝仲初
盧敖

羅子房
鄭思遠
王倪
馮長

甪里先生
夏黄公
王戎
阮籍
向秀

綺里季
東園公
山濤
嵆康
阮咸
劉伶

香具師
かうぐし

烟草曲呑（たばこ きよくのみ）
釣柿（つりがき）
曲喰（きよくぐひ）
無藝大食（むげい たいしよく）

伊勢の神職守武
弐朱判吉兵衛
狂月坊
佐渡国同三狸

飛彈
木匠
木隺
曽呂利
五郎兵衛
志道軒

家ゝ火運野

樸山 書通案文

全部一冊

世に手紙案文の書数部ありといへども毎其文言何れも迂遠を
ある物ハ捷径に走りて文意行届かず或ハ賤不相応の文言をかゝ
きりるゝ往来の下手の長文を以て類ある次声をせいてんを
清件の書人世にある所の類文を前後文章の易からぬを補
要用急務を専として通俗の便利なれば勝れたるは一冊なし
文脈を加へて行程千里を論ふとしても座に面談をなすがごとし
故にこの書通案文と号て日用の重宝となさしむるのみ

尾陽書肆 東壁堂 欽白